



日本語教室×防災講習 みんなと一緒に学びを深める

2月17日、町内の外国人向けに、日本語教室と防災講習を掛け合わせた日本語教室Nサロンを開催しました。

これは、地域との交流や防災意識の醸成を図るため、外国人参加者と稽妃隊（町女性消防団）や町職員などが一緒に防災についての学びを深め、避難テントとマットを準備したり、非常食の試食などを行いました。

参加した福永ゆきさん（城川内）は「みんなと一緒に避難所のテントや食事について学習できて良かった。同教室で勉強できて嬉しい」と話しました。



原子力防災訓練 原発事故を想定して避難

2月14日から16日までの3日間、九州電力川内原子力発電所での重大事故を想定した鹿児島県原子力防災訓練が実施されました。

本町でも原子力発電所から30㌾圏内（緊急時防護措置を準備する区域IIUPZ）に該当する5集落を中心に訓練が行われ、住民や消防団、町職員、分遣所職員ら約100人が参加。訓練では、町民体育館を避難所と想定してバスや自家用車、自衛隊の船を利用した避難訓練を実施したほか、避難所でのテントやトイレの設置方法など避難所開設方法の訓練を行いました。

鹿児島県下一周駅伝大会 郷土への思いを胸に力走



2月15日から19日までの5日間、53区間583.3㌾を競う第72回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催されました。本町からは、出水チーム選手として、池田智史さん（幣串出身・陸上自衛隊国分・写真1）、山下真太郎さん（平尾出身・鹿児島実業高校2年・写真2）、山口健伸さん（平尾出身・鶴翔高校1年・写真3）、田ノ上尚吾さん（菅牟田・長島町役場）、樋速太さん（菅牟田・同役場）の5人が出場しました。

期間中、強風や雨天の日もありましたが、選手たちは郷土への思いを胸に力強い走りを見せました。

